

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 7 年度阿蘇砂防事業効果検討外業務
業 務 概 要	プロポーザル方式（技術提案簡素化型） ・計画準備 ・資料収集整理 ・基本事項の整理 ・土砂・洪水氾濫区域の設定 ・費用対効果分析 ・委員会資料作成 ・土砂・洪水氾濫時に流出する流木の対策計画に関する資料整理
契約担当官等の氏名並びにその 所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 阿蘇砂防事務所長 坂井 佑介 熊本県熊本市東区下南部 1－4－7 3
契 約 年 月 日	令和 7 年 1 1 月 2 8 日
契 約 業 者 名	砂防エンジニアリング（株）
契 約 業 者 の 住 所	熊本県熊本市中央区八王寺町 3 0－1 メインプレイス熊本南 3 F
契 約 金 額	2 9，9 3 1，0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	2 9，9 3 1，0 0 0 円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	阿蘇砂防事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 7 年 1 1 月 2 9 日
履 行 期 間（至）	令和 8 年 7 月 3 1 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度阿蘇砂防事業効果検討外業務
2. 履行場所 阿蘇砂防事務所管内
3. 契約の相手方 住 所：熊本県熊本市中央区八王寺町30-1
会社名：砂防エンジニアリング株式会社
電 話：096-370-7707

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、「阿蘇山直轄砂防事業」の事業再評価に向けて土砂動態解析による被害想定を実施した上で、費用対効果を分析するものである。また、阿蘇山の「土砂・洪水氾濫時に流出する流木の対策計画」の検討に資するよう各種データの整理を実施する。

2) 業務の内容

本業務は、計画準備、資料収集整理、基本事項の整理、土砂・洪水氾濫区域の設定、費用対効果分析、委員会資料作成、土砂・洪水氾濫時に流出する流木の対策計画に関する資料整理、報告書作成を行うものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を26者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者とも参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「阿蘇山直轄砂防事業における実施状況を踏まえた費用対効果分析を行う際の留意点について」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、「照査における具体の手法・工夫等」が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「阿蘇山直轄砂防事業における実施状況を踏まえた費用対効果分析を行う際の留意点について」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

阿蘇砂防事務所 調査課長